

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 代 表 者 代表取締役社長 福井 秀明
 (コード番号 5602 東証・大証第一部)
 お問合せ先 執行役員 財務部長 小島 眞也
 (TEL 06-6538-7724)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成21年 5月15日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

－ 記 －

1. 連結業績予想数値の修正

平成22年3月期 第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,000	300	△ 400	△ 1,000	△ 7.56
今回発表予想 (B)	54,700	500	100	△ 3,000	△ 22.69
増 減 額 (B-A)	△ 5,300	200	500	△ 2,000	—
増 減 率 (%)	△ 8.8	66.7	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	67,867	△ 77	△ 378	△ 7,329	△ 57.23

平成22年3月期 通期 連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	133,000	3,000	1,500	500	3.78
今回発表予想 (B)	115,000	3,000	1,500	△ 1,500	△ 11.34
増 減 額 (B-A)	△ 18,000	0	0	△ 2,000	—
増 減 率 (%)	△ 13.5	0.0	0.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	158,563	2,589	1,524	△ 23,202	△ 178.27

2. 個別業績予想数値の修正

平成22年3月期 第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,000	300	200	100	0.76
今回発表予想 (B)	30,000	100	100	0	0.00
増 減 額 (B-A)	△ 1,000	△ 200	△ 100	△ 100	—
増 減 率 (%)	△ 3.2	△ 66.7	△ 50.0	△ 100.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	31,115	118	348	△ 7,929	△ 61.91

平成22年3月期 通期 個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	67,000	1,500	1,000	500	3.78
今回発表予想 (B)	72,000	2,000	1,500	1,000	7.56
増 減 額 (B-A)	5,000	500	500	500	—
増 減 率 (%)	7.5	33.3	50.0	100.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	71,127	1,896	1,685	△ 22,780	△ 175.03

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間連結業績予想修正の理由

売上高につきましては建設部門におきまして栗本建設工業㈱が平成21年6月4日にて民事再生手続きの申立を行いましたことにより、また、機械部門におきまして売上計上時期が第2四半期連結累計期間以降に延期されたことにより、減少する見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては機械部門の売上延期によるもの、鉄構部門で減収による減益となったものの、栗本建設工業㈱の民事再生手続開始の申立に伴う一部工事原価について特別損失処理を行ったことによるもの、ならびにその他の部門で増益となったことなどにより、前回発表予想を上回る見込であります。

当社グループといたしましては、栗本建設工業㈱につきまして当社が保有する同社の株式を第三者に譲渡する方向で検討を進めており、これにより平成21年9月末日を目処として、当社グループの連結対象外会社とする予定であります。なお、これに伴う特別損失の計上を約28億円見込んでおり、四半期純利益につきましては前回発表予想を下回る予想であります。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、栗本建設工業㈱を連結対象外会社とする予定であること、平成21年5月18日に公表いたしました㈱IHIに対して橋梁・水門ならびにこれらの関連事業を譲渡することなどにより、減少する見込みであります。

当期純利益につきましては、第2四半期連結累計期間において栗本建設工業㈱を連結対象外会社とすることによる特別損失の計上を約28億円見込んでおり、前回発表予想を下回る予想であります。

(3) 第2四半期累計期間連結個別予想修正の理由

売上高につきましては、鉄管・バルブ部門で増収となった反面、機械・鉄構部門などで減収となったことにより、減少する見込みであります。

営業利益、経常利益などにつきましても減収に伴う減益となる予定であり、売上、利益とも前回発表予想を下回る予定であります。

(4) 通期個別業績予想修正の理由

売上高につきましては、㈱IHIに対して水門部門を譲渡することにより減少する反面、平成21年5月25日にて公表いたしました、当社連結子会社である栗本化成工業㈱、クリモトメック㈱などを合併することにより増加する見込みであります。

営業利益、経常利益などにつきましても、連結子会社の合併により増益となる見込であり、売上、利益とも前回発表予想を上回る予定であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上